

平成 17 年度文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代 GP）」採択

地域と連携した「ものづくり」教育

宇部工業高等専門学校

「現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代 GP）」は、社会的要請の強い政策課題に対応したテーマ設定を行い、大学・短大・高専から申請された取組の中から、特に優れた教育プロジェクトを選定し、財政的支援を行うことにより、高等教育のさらなる活性化が促進されることを目的としています。平成 17 年度現代 GP には、6 分野 509 件の取組が申請され、84 件が採択されました。本校の取組は、「人材交流による産学連携教育」分野で採択された 8 件の一つに選ばれました。

教育プログラムの概要

本取組は、オンキャンパス教育に加え、地域と連携した「ものづくり」教育プログラムを構築することにより、学生の学習意欲の向上及び知識・技術の活用能力、計画立案・遂行能力、プレゼンテーション能力、指導力などの実務能力を強化することを目的とする。

本教育プログラム（図 1）は、地域教育サービス、インターンシップ及び地域連携型卒業・特別研究に関する 3 科目から構成される。

地域教育サービスは、学生が地域の小学校・中学校の児童生徒に対して「ものづくり」教室を自由な発想と創意工夫により企画・開催することを内容とする科目である。

期待される効果

創造力と実務能力を有する技術者の効果的な育成が可能となる。

実践的技術者を育成する他大学・高専への教育的波及効果が期待できる。

地域の小・中学校の児童生徒の科学技術・理科に関する興味・関心と知的探求心を一層高める機会を提供できる。

地域社会・産業の新規創出・振興に貢献できる。

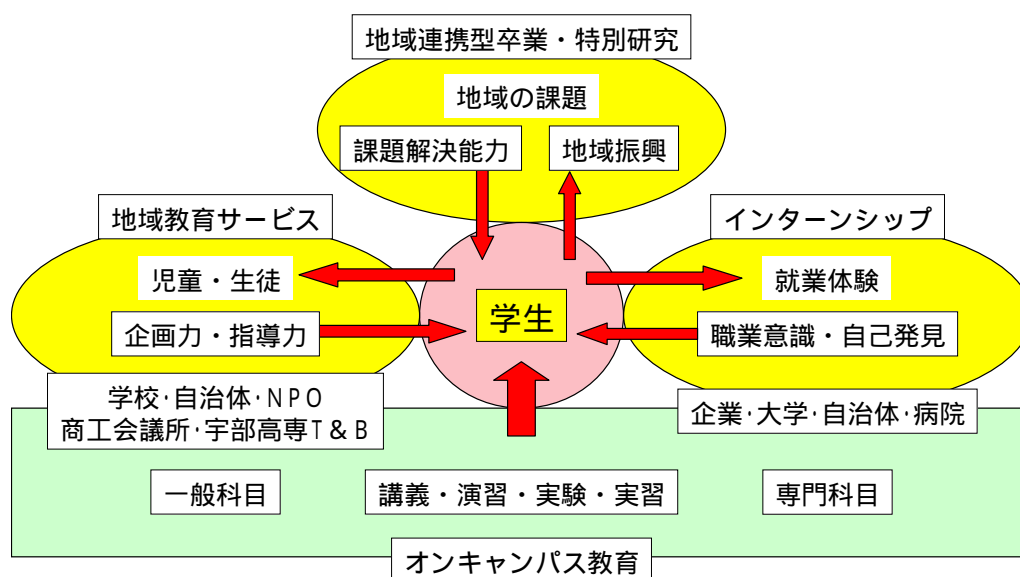


図 1 地域と連携した「ものづくり」教育プログラム

本取組に対する地域の協力体制

包括的な協力：宇部市・山口大学・山口県産業技術センターとの協力協定、やまぐち産業振興財団

インターンシップへの協力：宇部高専テックアンドビジネスコラボレート会員企業、山口県経営者協会、宇部商工会議所、本校独自のネットワーク企業・機関

卒業研究・特別研究への協力：宇部高専テックアンドビジネスコラボレートの会員企業（県内）、東京・大阪地区大手企業

地域教育サービスへの協力：宇部市及びその近郷地域の教育委員会及び小学校・中学校、宇部市商店街組合、NPO 法人等

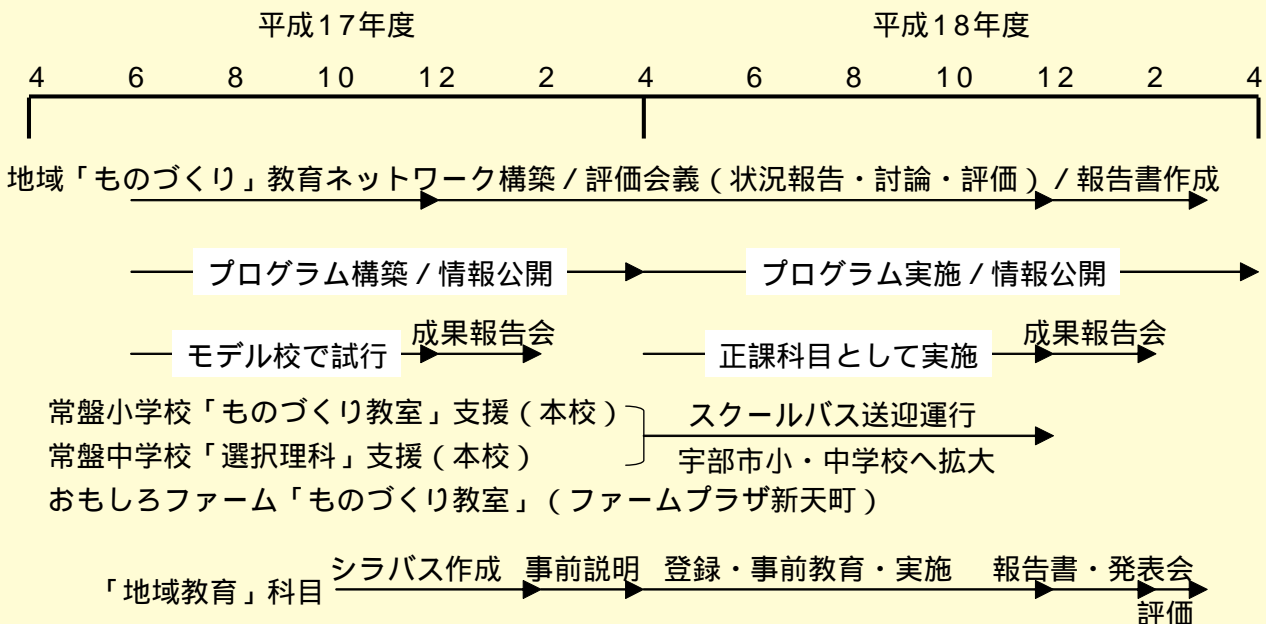
実施計画

全体計画（図2）

地域「ものづくり」ネットワークの構築と評価会議の設置、成果報告会の開催、成果の公表（成果報告書・インターネットでの公開）

地域教育サービス（図2）

17年度にモデル校での実施とシラバスの作成を行い、18年度に正課科目として本格的に実施する。学生は「ものづくり」教室のコース選択をする。小学校・中学校コースは本校で実施、サテライト教室コースは宇部市商店街共同組合事務所ビルで実施する。本科目は事前教育（テーマ選択・計画・調査・予備実験・教材作成・準備）、「ものづくり」教室の実施、事後教育（報告書作成・発表会）から構成される。



「ものづくり」分野：機械、電気・電子、ロボット、情報・通信、化学、バイオ、環境、デザイン
 成果報告会：児童・生徒・保護者、学校・企業・行政・NPOの関係者、本校学生・教員
 評価会議：小・中学校教諭、保護者、大学・企業・行政・NPOの関係者、本校教員・学生

図2 地域教育サービスの実施計画とスケジュール